



しばた議会だより



これからは私たちのじ・だ・い・よ!

「議会ネット中継」への
QRコード

※詳しくは、柴田町ホームページ
を参照してください。



- 柴田高校とのワールドカフェ 2～3
- 6月会議 4～5
- ここが聞きたい 14人の議員が一般質問 7～14
- 追跡 柴田町消防団 18～19

今年も開催!!

魅力あるまちって?

しゃべり場in柴田高校2019

柴田町議会×柴田高校

テーマ 20年後も住みたいまち、戻ってきたいまちを考える



当日の流れ

ラウンド 1 自分の住む町や柴田町の「いいね!」「残念!」と思うことは?

ラウンド 2 20年後、どんな仕事、どんな人々と、どんな暮らしをしたいですか?理想の暮らしを考えてみましょう

ラウンド 3 20年後、そんな暮らしが実現する地元にするために、これから必要な「場」「人」「仕組み」はなんですか?

個人ワーク 理想の20年後を実現するために、今から自分が取り組まなければならない一歩はなんですか?

全体共有

どんな町になってほしい?

今年で4回目を迎えた柴田高校生とのワールド・カフェを、6月28日(金)に柴田高校を会場に開催しました。今回は、役場の若手職員(17人)も参加し、年代の近い学生との対話を楽しみました。

「20年後も住みたいまち、戻ってきたいまち」をテーマに、各テーブルから笑い声や真剣なまなざしで対話している姿が多くみられました。未来ある若者の貴重な意見を聞くことができました。

議会では、これからのまちを担っていく若者の意見を町政に反映できるよう取り組んでいきます。

ワールド・カフェって??

カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、メンバーの組み合わせを変えながら、自由に話し合いを発展させていくワークショップの手法です。



こんな意見が出ました!

- 若者が集まりやすい場所(カフェなど)
- お金を落としてくれる場所を作り、活性化させる
- スポーツがしやすい環境づくり
- イベントや祭りを仕掛けられる人
- スポーツをより活発にするために働きかけるべき
- 駅前にフリースペース(コピー機はただで使える)
- 地域でイベントを開き、交流をふやす
- 子育てしやすいまちにして!
- まちの情報発信

個人ワーク 理想の20年後を実現するために取り組むこととは??

魅力あるまちって? しゃべり場 in 柴田高校 2019

高橋菜々子さん

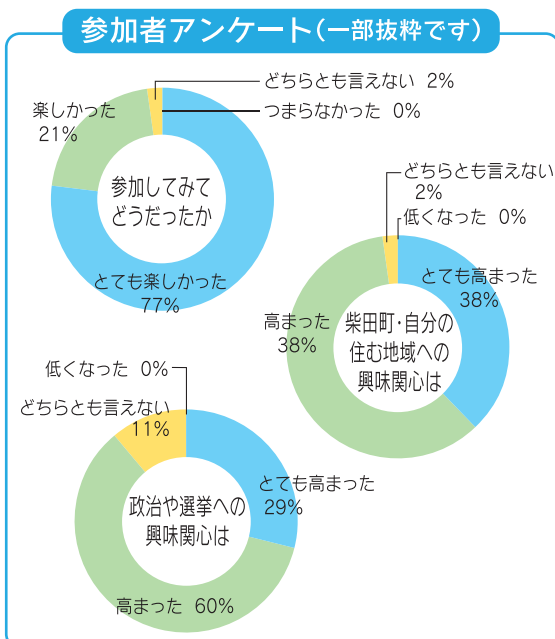
岡野 朱伽さん

大場 琉翔さん

山根 蒼良さん

太田 頼暉さん

鈴木 美空さん



当日の感想

☆他の地域などの話しを聞いて、自分の町のいいところなどをあらためて確認することができた。

☆地域の問題について、もっとみていかなければならないと危機感を持った。

☆議員さんや、役場の職員さんを通して、多くのことを知れたのは、自分の人生の大きな栄養になったと感じた。

☆普段過ごしていて感じたことなどを、自由に発言でき充実した話し合いになったと思います。私たちの意見で柴田町が更によりよい町になれば嬉しいなと思いました。

761万円

と防災減災対策を強化

議案第13号

6月会議は、6月3日から6日まで開催されました。今回の会議では、専決処分など10件の報告及び委員会に付託していた陳情の審査報告1件のあと、町道路線認定1件、条例の制定や改正7件、小中学校空調機設備工事案件3件、令和元年度各種会計補正予算3件、意見書案1件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問は14人の議員が行い、項目は26件でした。

令和元年度補正予算

プレミアム付商品券事業

消費税率の引き上げによる支援策として、住民税非課税者と3歳未満の子どものいる家庭が対象。本町では7千500人を見込んでいる。発行は10月1日、翌年3月31日まで利用できる。

待機児童ゼロに向かって

私立保育所施設整備補助事業

来年開園予定の船岡字下横橋地内に整備される50人規模の私立保育所施設整備に対する補助。

防災・減災対策

指定避難所のトイレ改修事業

指定避難所である農村環境改善センター、西住公民館、船岡体育館、船岡小中学校体育館のトイレの洋式化と床のバリアフリー化を合わせて実施する。

さらなる教育環境の充実

小中学校大規模改造工事事業

今回、国の補正予算が認められたため、遅れていた3小中学校と1中学校の大規模改造工事を実施する。



東船岡小学校

学校名	校舎	体育館
東船岡小学校	大規模改造	大規模改造
西住小学校	大規模改造	トイレ洋式化
柴田小学校	大規模改造	トイレ洋式化
船迫中学校	大規模改造	トイレ洋式化

令和元年度補正予算

	会計区分	補正額	補正後の額	
6月会議	一般会計	9億8,367万円	127億3,268万円	
	特別会計	国民健康保険事業	66万円	40億436万円
		介護保険	28万円	29億7,322万円

一般会計の補正による主要内容と予算額

	主な事業	補正額
6月会議	プレミアム付商品券事業	5,276万円
	私立保育所施設整備補助	7,534万円
	指定避難所洋式化工事	761万円
	小中学校大規模改造工事	8億3,200万円
	2020東京オリ・パラ応援サポート人材育成事業	223万円

令和元年度
一般会計
補正予算

8億3,200万円

学校の長寿命化対策

議案第10512号

国の交付金を一部活用

質疑 設計の仕様は冷房能力で示されるのか、それとも型番でしめされるのか。
答弁 仕様については型番ではなく、教室の面積によって出力に応じて設計している。

質疑 室外機は直射日光が当たる設計だが、カバーをつければ省エネ効果があるのでは。
答弁 カバーの設置を含め、検討していく。



可決した契約案件

主な事業	契約の額
小中学校空調機設置電気設備工事（繰越明許）	2億 1,973万円
小中学校空調機設置機械設備工事（船岡地区）（繰越明許）	1億 6,214万円
小中学校空調機設置機械設備工事（槻木船迫地区）（繰越明許）	2億 515万円

7月会議（7月12日開催）

令和元年度7月会議が開催されました。

今回の補正は、ふるさと柴田応援推進事業と、ほ場整備に伴う埋蔵文化財発掘事業の実施に必要な経費を追加するもので、全会一致で可決しました。

令和元年度補正予算

会計区分	補正額	補正後の額
一般会計	2億 3,340万円	129億 6,609万円

一般会計の補正による主な内容と予算額

主な事業	補正額
ふるさと柴田応援推進事業	2億 2,490万円
埋蔵文化財発掘事業費	850万円

意見書 可決

◎小・中学校全学年での35人以下学級実施並びに特別支援学級の基準を8人から6人にすることを求める意見書

☆意見書の趣旨（抜粋）

学習指導要領の改定による授業時間の増加や、教員の余裕のない「働き方」が大きな問題となっている。深刻な状況にある子どもたち一人一人に目が届き、どの子も楽しく、安心して学べ、健やかに育つため、本県で実施している学級編制弾力化事業を拡大し、小・中学校全学年での35人以下学級の実現と、特別支援学級編制標準を8人から6人にすることを強く要望するものです。

本会議出欠状況・議案などの審議結果

●本会議出欠状況及び審議結果一覧（6月、7月会議）

区分	主な内容及び件名	月日	出席者数 △	賛成 △	反対 △	議決結果	森	加藤	安藤	平間	桜場	吉田	秋本	斎藤	平間	佐々木	安部	森	広沢	有賀	舟山	白内	水戸	高橋
							裕樹	滋	義憲	幸弘	政行	和夫	好則	義勝	奈緒美	裕子	俊三	淑子	真	光子	彰	恵美子	義裕	たい子
本会議	町政報告、一般質問	6.3	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般質問	6.4	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般質問	6.5	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	条例、補正予算、意見書等	6.6	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	補正予算	7.12	17				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

審議結果	陳情第8号	6.3	18	17	0	採	択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第2号～第15号、意見書案第1号	6.6	18	17	0	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第16号	7.12	17	16	0	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため、また、「-」は議場にいないため表決に参加していないことを表す。

○議案等の内容

6月会議	
陳情第8号	宮城県に対し、小・中学校全学年で少人数学級実現等を要請する意見書採択を求める陳情書
議案第2号	町道路線の認定 ・大字入間田字二五田5の19から5の4までの区間を町道入間田52号線として認定するもの。
議案第3号	柴田町森林環境譲与税基金条例 ・森林機能の回復及び林業の成長産業化を図るため、基金を設置するもの。
議案第4号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 ・「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が施行されたことに伴う改正。主な内容は時間外の上限等を設けるもの。
議案第5号	柴田町母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正 ・所得税法における「控除対象配偶者」が「同一生計配偶者」に改められたことに伴う改正。
議案第6号	柴田町心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正 ・宮城県の心身障害者医療費助成事業の助成対象者の範囲が拡大されたことに伴う改正。
議案第7号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正 ・主な内容は、災害援護資金の貸付利率、償還方法及び保証人に関する規定を改めるもの。
議案第8号	柴田町介護保険条例の一部改正 ・主な内容は、介護保険料の所得段階が第1段階から第3段階に該当する低所得者層に対して、保険料の軽減を図るもの。
議案第9号	柴田町東日本大震災復興特別区域法第28条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正 ・工場等の新設や雇用創出を促進させるため、復興産業集積区域での緑地等の割合の規制を緩和するもの。
議案第10～12号	工事請負契約 5ページに掲載 ・市内の小中学校に空調機を設置するための電気設備工事及び機械設備工事の契約に係るもの。
議案第13号	令和元年度柴田町一般会計補正予算 4～5ページに掲載
議案第14号	令和元年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算 ・歳入は一般会計繰入金事務費分の増、歳出は総務管理費一般管理費の増。臨時職員賃金の補正。
議案第15号	令和元年度柴田町介護保険特別会計補正予算 ・歳入は介護保険料の増、歳出は地域ケア会議推進事業費の増。地域支援事業費の補正。
意見書案第1号	5ページに掲載
7月会議	
議案第16号	令和元年度柴田町一般会計補正予算 5ページに掲載



吉田和夫 議員

Q 子育て支援にアプリの利用を

A 来年度から導入に向けて準備を進める



スマホで簡単子育てアプリ

問 子育て支援アプリについて、どんな検討をしたのか。

町長 29年度3月会議で、吉田議員から子育て支援アプリの配信の提案があり、導入について検討した。問い合わせや要望もなかったこと、町オリジナルの子育て支援アプリは開発費用が高額になるといふことで、導入を見送っていた。

問 県内での導入が進む前に、いち早く提案したが、まだ実施され

いない。周りの市町で実施運用し、子育て世代に喜ばれている。導入しては。

町長 昨年度から仙南でも子育て支援アプリを導入する自治体が増え、既製のアプリを使えば基本機能を無料で使えることから安価に導入することが可能になった。また、町の郵便番号で登録しているユーザーに対して、各種お知らせを配信することが可能であることが確認できた。来年度から

導入に向けて準備を進める。

問 このアプリ開発に少子化対策支援市町村交付金と、国の予算で地域少子化対策重点推進交付金など活用できないか。

町長 県で行っている少子化対策事業が、導入初年度のみ使えるという情報があり、今後、県に確認し進めていきたい。

Q 町長の目指す「B級観光地」とは



舟山 彰 議員



A 潜在的な力と可能性を秘めた観光地



新たな魅力を発信する 太陽の村

今年の町長の施政方針に「まだまだ観光客の絶対数が足りません。これまで以上に知名度の向上や集客力のアップを図るため、花をテーマに地域をデザインし、まずはB級観光地としての地位を確保できるよう観光戦略を強化し、人や投資を呼び込む」とあった。

町長 B級観光地とは全国的に余り知られていないが、昔から地域の人々に愛され、その地域を代表するオンリーワンの観光素材としての評価が高く、さらに磨きをかけることによって魅力と輝きを増す、潜在的な力と可能性を秘めた観光地を指すと言われている。

問 人や投資を呼び込むとは、具体的にどのようなことを考えているのか。

町長 新たな切り口として、太陽の村を仙南サイクルツーリズムの推進拠点施設として位置づけ、まずは子ども向けの自転車のメッカとなるようキッズバイクパークの整備を行う。さらに、仙南圏域をエリアとしたガーデンツーリズムの振興を図るため、国のガーデンツーリズム認証制度に登録できるよう、調整を進めている。

一般質問

町長 国や県が管理する河川を対象に、2年間で全国3千700カ所余りに設置を行うもので、町の管理河川は事業の対象になっていない。現在、柴田町に関する監視カメラの設置箇所は、阿武隈川と白石川との合流部付近で3カ所、白石川は大河原町尾形橋に設置してあ

問 国土交通省は、本年度河川の様子をインターネットへ配信する簡易型監視カメラの全国配置を始める。本町の河川は対象となったのか。

町長 国や県が管理する河川を対象に、2年間で全国3千700カ所余りに設置を行うもので、町の管理河川は事業の対象になっていない。現在、柴田町に関する監視カメラの設置箇所は、阿武隈川と白石川との合流部付近で3カ所、白石川は大河原町尾形橋に設置してあ

Q 河川への監視カメラは十分なのか



加藤 滋 議員

A 町の範囲内では4カ所設置してあり十分である



河川状況をいち早くチェック！

危険管理 5段階の警戒レベルの町民への周知は、チラシを今月中に配布する。防災マップを作成中だが、この内容

問 豪雨災害時の避難情報が発信に関する消防庁指針の内容は、警戒レベルを5段階とした。警戒レベル3は高齢者避難、4は全員避難と明快なものに変わる。

危険管理 柳木体育館前の雨水排水ポンプ整備に加え、柳木下町三丁目の雨水対策工事が完了した。今後はデータを検証し、国道4号バイパスの雨水処理方法について、国土交通省と協議していく。

問 局地冠水対策マニュアルでの柳木上町・下町地区の恒久対策の進捗状況は。

る。町ホームページのトップページに、河川情報が閲覧できるように構成になっている。

を加え10月以降に住民説明会で周知を図る。

問 柳木体育館前の雨水排水ポンプ整備に加え、柳木下町三丁目の雨水対策工事が完了した。今後はデータを検証し、国道4号バイパスの雨水処理方法について、国土交通省と協議していく。

町長 柳木体育館前の雨水排水ポンプ整備に加え、柳木下町三丁目の雨水対策工事が完了した。今後はデータを検証し、国道4号バイパスの雨水処理方法について、国土交通省と協議していく。

Q 水道事業の「みやぎ型管理運営方式」の議論を



白内恵美子 議員



A 県議会の動向を注視していく



水量豊富な七ヶ宿ダム

町長 メリットは経費削減を図り、水道事業の負担金上昇が抑制される

問 みやぎ型管理運営方式のメリット・デメリットは。

30年12月に改正水道法が国会で成立した。村井知事は水道3事業の運営を民間企業へ一括委託する「みやぎ型管理運営方式」の実施を、令和3年度中と表明した。現在、世界の趨勢は民営化ではなく再公営化であることから疑問がある。

こと。デメリットはないと県は考えているとのこと。町としては、民間事業者が途中で撤退し、供給に支障がないか懸念を持つ。

の裁量権や自主性を損なうものではない。

町長 町の権限はない。町の裁量権や自主性を損なうものではない。

問 町の裁量の範囲と、町の自立性は。

町長 町への直接的影響はあまりない。

問 県の事業推進により町への影響は。

町長 県は、県民への周知と情報提供を目的にシンポジウムを4回開催し、ホームページで内容を公開している。現在、県議会で県民の声を反映した活発な議論が交わされており、県議会の動向を注視していく。

問 住民へ安心で安定した水道水の提供は地方自治の根幹である。「みやぎ型管理運営方式」について住民を交えて議論することを提案する。

町長 県は、県民への周知と情報提供を目的にシンポジウムを4回開催し、ホームページで内容を公開している。現在、県議会で県民の声を反映した活発な議論が交わされており、県議会の動向を注視していく。



森 淑子 議員

Q 思源閣を情報収集・発信の場として身近な施設に

A 展示活動も含めて情報発信に努めていく



柴田の歴史にふれられる思源閣

問 町内各地に、地域の故事来歴を記した史料や古い写真が残っている。世代交代で古いものが処分される前に、地域と共同で掘り起こしができないか。

教育長 町の歴史、文化などの収集に努め、掘り起こしの方法について検討する。

問 伊達騒動、明治維新関連の出来事、海軍火薬廠のことなど、町の歴史を冊子にまとめ、町民や観光客に配布できる

教育長 ようにしてはどうか。できるだけ分かりやすい資料を作成し、思源閣へのコーナー設置や町のホームページを活用した情報発信にも努める。

問 思源閣の収蔵品をデジタル化し、視聴できるコーナーを作っては

教育長 データベース化は22年に実施しており、紙ベースでの閲覧が可能になっている。パソコンによる閲覧ができるよう調整する。また、収蔵品

を立体的に見られる映像化についても、必要性が高まれば検討する。

問 朝日新聞「天声人語」に、本町と原田甲斐

が大きく取り上げられ、住民の活動も紹介された。本町を広く知っていただく良い機会ではないか。

教育長 原田甲斐の人物像は諸説あるが、分かりやすいチラシなどを作成し提供する。



秋本好則 議員

Q 工事時期と経費を考え、準備するのが責任では

A 理論上はできるが実際の財政運営では困難



昭和45年に開館した船岡公民館

公共施設等総合管理計画個別計画の中間報告が公表された。内容を問う。

問 計画の目的は。

町長 持続可能となるよう財政負担の軽減や平準化を図ることが目的。

問 東船岡小学校は長寿命化工事をするところ。学校などの個別計画

は31年度からの作業では有利な補助金が付いたということ。

町長 ライフサイクルコストは長寿命化で増え

る。事前に小改修をして工事費を平準化し、優先順のパターンを考えて財政健全化が目的では。

財政課長 長寿命化のパターンは比較できるので大変重要と考える。

問 ライフサイクルコストは新築工事費の6倍強。無理がない財政計画を立てないと危険では

町長 計算はできるが多分無駄な計算になる。

問 国の予算が付けば工事し、優先順位は関係ないということか。

町長 ライフサイクルコスト上は有利でないが国の財政支援に飛びつくことが財政軽減になる。

問 どの位の資金が必要か考え、蓄えておくのが我々の責任では。

町長 理論上は可能だが実際の財政運営では困難と言わざるを得ない。

問 岩沼市などでは公共施設等整備保全基金を創設しているが。

町長 本町では新基金を作る財政的余裕はない。

一般質問



桜場政行 議員

Q 中学校の運動部活動に部活動指導員の活用を

A 導入に向けて体制整備を検討する



部活に打ち込む生徒たち

問 本町における中学校教員の平均超過勤務時間は。

教育長 29年度は月45時間。30年度は月56時間。

問 教育委員会は、月何時間までの超過勤務を目指しているのか。

教育総務課長 月45時間を目指していく。今年度から勤怠システムを導入して、先生方の勤務形態が数字であらわれる。

問 運動部活動外部指導者派遣事業の学校ごと、種目ごとの登録状況

は。

教育長 30年度は、船岡中の女子バレー部と船迫中のバドミントン部に各1人。令和元年度は、槻木中と船迫中のバドミントン部に各1人となっている。

問 外部指導者だけで、生徒を引率して練習試合ができるのか。

教育総務課長 外部指導者は技術指導。生徒の引率は、顧問の先生が担う形になる。同行して指導することではできない。

問 県の部活動指導員の進捗状況は。

教育総務課長 令和2年度まで外部指導者として町への派遣と考えている。3年度以降、部活動指導員への移行と聞いている。

問 効率的な活動ができる、先生方の負担軽減ができる中学校の部活動指導員の活用を。

教育長 部活動指導員は、部活動の技術指導や大会への引率などを行う職務である。導入に向けて体制整備を検討する。

28年に策定した「柴田町スポーツ推進計画」の、基本目標には、住民のニーズや期待にこたえ「いつでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツ活動を、継続的かつ生涯にわたって親しめる環境を整備する必要があると記されている。

問 サッカーのできるグラウンドが3つあるが、環境が整っていると考えるか。

スポーツ振興課長 観客席がないので、試合をするには良い環境だとは思っていない。

問 人工芝を、既存のグラウンドに整備する事を検討したことはあるか。

スポーツ振興課長 検討したことはない。

問 サッカーの整備環境を整える、助成事業の活用を進めるべきでは、生涯教育総合運動場に、広い土地が残っているのので整備計画を練り直し、サッカー場ができるか今後考えていく。

問 柴田球場のグラウンド状況が、あまりにもひどい。抜本的な整備

町長 が必要だと考えるが。学校施設の整備が一段落すれば、次の段階で、スポーツ施設の改善などを進める。

問 ヒルズ県南総合プールは、ネーミングライツを活用している。公共施設に名称を付与した広告料を、メンテナンスやグラウンド整備に当てていくことを提案する。

Q 屋外運動施設の整備は



森 裕樹 議員



A 学校施設整備後に、スポーツ施設の改善を進める



大規模な改修が待たれる柴田球場



佐々木裕子 議員

Q 柴田町パークゴルフ場の早期整備を

A 総合体育館建設の目途が立った後に検討したい



全世代が楽しめるパークゴルフ

パークゴルフ研究会を立ち上げ6年になる。その間、生涯教育総合運動場への整備可能性調査事業や用地造成について、各々答弁があったが、その後の考え方を問う。

問 パークゴルフ場整備についての考えは、

教育長 現在、総合体育館建設予定地の造成工事に着手に向け、準備を進めている。建設の目途が立った後、パークゴルフ場の規模や運営について、具体的に検討したい。

問 スポーツへの参加意欲を高めるには、施設整備が重視される。パークゴルフ場整備への資金計画は、

町長 計画は立てるが、急に有利な補助金、交付金が活用できる場合、そちらを優先する。パークゴルフ場は1億円と想定しているが、財政上で、具体的資料には載せていない。まずは、学校関係の整備、次に総合体育館建設に目途をつけ、その後に入スポーツ施設の修繕

などについて、財政計画を立てて行くのが今の流れになっている。

問 県パークゴルフ協会は、海外にPRし観光とセットで呼び寄せ、町への潤いと考えている。本町にもパークゴルフ場があれば、町の賑わい創生にもなると思うが、

町長 次の地方創生推進事業の企画の中で、パークゴルフ場の整備も含め、観光と健康とスポーツを組合せた構想を今から練っていく。



広沢 真 議員

Q 災害時の情報共有の再点検を



A 各所と連携しつつ共有する



槻木大橋付近で工事始まる

豪雨災害が頻発している。梅雨入りを前にして全国で大きな被害が出ている。町では個別に被害が予想される地域への対策を進め、被害は減ってきているが、想定を超える雨量に警戒しつつ被害軽減の努力が必要だ。

問 今後の水害被害の予想地域は、

町長 今後、想定最大規模の降雨量で想定した浸水区域での防災マップを制作するが、船岡、槻木の市街地のほとんどが

浸水地域となると考えている。

問 災害時の情報共有についての手段をどう考えているか。

町長 災害時には情報の収集、伝達体制の確立のため、災害対策本部を設置し、非常配備体制を敷く。本部では町職員の調査班はもとより県、消防、警察、自衛隊からの情報、防災無線で行政区から情報収集をする。さらに、災害協定に基づく町内郵便局職員からの情

報も入ってくる。

問 雨水排水対策は常設型排水ポンプの併用が前提だが、停電が重なった時の対策は、

都市建設課長 ライフラインの中で、電力は復旧が早いので多少の望みは持っているが、常設型ポンプは一般の電源を使用する。外部電源も使えるが、災害時にはリース会社の発動機があちこちから引き合いがあり、確保するのが大変だが今後対策を進めていく。

一般質問

町長 国の補助金を活用した小規模保育所事業の開設に対して支援策を講じている。待機児童の解消に向けては家庭的保育事業や小規模保育事業

問 ゼロ歳児6人、1歳児21人、2歳児11人、3歳児11人の合計49人の待機児童がいる。そのほか潜在的な待機児童も多数いる。空き家を活用した家庭的保育事業を積極的に進めていけば、待機児童問題も改善されることが考えられるか。

町長 国の補助金を活用した小規模保育所事業の開設に対して支援策を講じている。待機児童の解消に向けては家庭的保育事業や小規模保育事業

問 私立保育所への参入を促し、支援に努めていく。31年4月時点において、町立3保育所のうち2施設が定員割れとなつては、0・1・2歳児は希望しても入れず待機児童となつている。定員を増やすことはできないのか。

町長 一概に定数に合わせるのではなく、その施設の面積と保育士の数で調整している。保育士が不足している今、保育士などの

問 有資格者を町では把握しているのか。町全体での有資格者を、把握するすべを持つていない。

町長 調査通知を出して、意向調査は可能だが、そこまでやる体制にはなっていない。

問 利活用できる空き家は何軒なのか。調査対象の312軒のうち119軒である。

町長 調査通知を出して、意向調査は可能だが、そこまでやる体制にはなっていない。

問 所有者の了解を得て、中を見せてもらうのは可能か。



Q 待機児童対策に空き家の活用を

A 小規模保育所事業開設への支援策を講じている

安藤義憲 議員



その2 その1



船岡地区にある空き家を活用した小規模保育施設

町長 発達障害を含むすべての障害のある幼児児童、生徒の情報を共有し、指導、支援の充実に努めている。今後も、発達障害の早期発見、早期療育に取り組む。

問 発達障害者支援法では、国及び地方公共団体は、発達障害の早期発見のため、必要な措置を講ずるものとしている。そこで、町の発達障害の早期発見について、取り組みを問う。

町長 保健師が数名体験した。無意識に、自分の視線がどういふものを見ていのかは大人は理解しやすい。しかし、我が子が一点しか見つめなかつた時、親の気持ちと

問 昨年の9月会議でも発達障害について質問した。テレビカメラによる検査の導入の紹介をした。その後、町の保健センターで評価装置のデモンストレーションを行い、実際に体験をしてどう感じたか。

町長 現在、4歳から6歳までの間で健診している自治体は全国で1割。ただ内容は様々であり、町としては今のところ厳しいと考える。

問 先進自治体では就学時健診前に1歳6カ月児、3歳児、5歳児健診に取り組んでいるところが増えている。町では5歳児健診を検討したことはあるか。

町長 発達障害を含むすべての障害のある幼児児童、生徒の情報を共有し、指導、支援の充実に努めている。今後も、発達障害の早期発見、早期療育に取り組む。

問 発達障害者支援法では、国及び地方公共団体は、発達障害の早期発見のため、必要な措置を講ずるものとしている。そこで、町の発達障害の早期発見について、取り組みを問う。

町長 保健師が数名体験した。無意識に、自分の視線がどういふものを見ていのかは大人は理解しやすい。しかし、我が子が一点しか見つめなかつた時、親の気持ちと

問 昨年の9月会議でも発達障害について質問した。テレビカメラによる検査の導入の紹介をした。その後、町の保健センターで評価装置のデモンストレーションを行い、実際に体験をしてどう感じたか。

町長 現在、4歳から6歳までの間で健診している自治体は全国で1割。ただ内容は様々であり、町としては今のところ厳しいと考える。

問 先進自治体では就学時健診前に1歳6カ月児、3歳児、5歳児健診に取り組んでいるところが増えている。町では5歳児健診を検討したことはあるか。



子どもたちの未来のために



水戸義裕 議員

Q 町政に若者の意見を取り入れては

A 町政への意見を吸い上げる



町長もビックリ！子ども議員の鋭い意見！

令和4年4月1日から「18歳成人時代」が始まる。10年、20年後の柴田町を考えると、子どもから30代中ごろまでの若者に、町政や地域に関心を持ち、活躍してもらえるような政策が必要ではないか。

問 若者の意見を取り入れて実施している政策は。

町長 毎年、さくら青年会議所との首長政策懇談会やPTA会長会議の開催・太陽の村冒険遊び場整備推進協議会での意見を取上げ政策に反映。

問 若者の組織を作り、その意見をまちづくの政策に生かす考えは

町長 事業を実施する際、若者の意見を取り入れていくものは、成人式や仙南青年文化祭。農村青年クラブ・子ども会育成会などでは意見交換をしている。若者の組織に対しては、商工会青年部や子育て中のお母さん方などに行政との懇談会や若者議会を呼びかけているがより良い回答は得られ

ていない。私自身、若者の中に飛び込み、意見を吸い上げ、政策に反映させていきたい。

問 若者会議は、全国的に広がりを見せている。そこから出てくる意見は

町長 青年会議・議会をやらなから、町政に若者の意見が反映されな

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

平間奈緒美 議員

- 問** 町の誇りである桜を、次世代にどうつなげていくのか。
- 答** 郷土愛をもつことが大切。町の誇りである桜を次世代に継承していきたい。
- 問** 投票率向上につなげていくため、選挙パスポートの導入を。
- 答** 投票率の向上が大幅に図られるか、他の市町村の動向を注視していく。

吉田和夫 議員

- 問** 胃がん検診に胃内視鏡検査（胃カメラ）を選択できないか。
- 答** 仙台市の事例が県内に及ぼす影響が大きいため、今回の経過を見て検討する。
- 問** 公共施設に公衆無線 LAN（Wi-Fi）の整備を。
- 答** 無料 Wi-Fi 内蔵の自動販売機などの設置を含め検討する。

舟山 彰 議員

- 問** 町としてもっと効果のある地方創生事業を行うべきではないか。
- 答** サイクルツーリズムやガーデンツーリズムなどの新しい切り口からステップアップする。
- 問** 小学校通学路内ブロック塀などの安全は。
- 答** 県が派遣した建築士会の技術者に町の職員が同行し、30年11月から3カ月間調査を行った。

加藤 滋 議員

- 問** 町内の広報掲示板に風雨対策を。
- 答** 様々な情報発信ツールがある中で、掲示板を今後整備活用していくのか検討したい。

白内恵美子 議員

- 問** 国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」をどのように達成するのか。
- 答** 町だけで達成できる項目はない。今年3月に策定した総合計画に要素が盛り込まれている。
- 問** 小・中学校における就学援助対象項目（卒業アルバム代、クラブ活動費等）の拡充を。
- 答** クラブ活動費は学校での徴収が条件。今後県や近隣市町の動向を見て項目を検討したい。

秋本好則 議員

- 問** 英語や日本語を話せない外国籍の子どもの記事があった。外国籍児童の言葉の問題は。
- 答** 外国籍児童は小・中学校に各1人いる。日本語指導のため、非常勤講師を配置している。
- 問** 給食センターの使用電力を他と比べると桁違いに少ない。調理器具は十分に使えるのか。
- 答** 一斉に使わず順番に使っている。食器消毒保管庫も電氣量が上がらないよう運用している。

森 裕樹 議員

- 問** 児童・幼児の道路歩行時の安全は。
- 答** 通学路の点検実施や、園児や児童生徒に対する安全教育を継続し、安全確保に努めていく。

進む！議会改革

柴田町議会では、議会基本条例に基づき、様々な改革に取り組んでいます。

議会アドバイザーを委嘱



委嘱状を交付

28年から取り組んでいる柴田高校とのワールドカフェの講師を依頼したことがきっかけで、これまでも議会改革などの助言をいただいていた、青森中央学院大学准教授 佐藤淳先生を議会アドバイザーとして委嘱しました。



研修会の様子

依頼内容

- ・議会基本条例検証に係る助言及び第三者評価
- ・議員向け研修
- ・議会運営・議会改革に関する助言など

プロフィール

佐藤 淳あつし氏 青森中央学院大学 経営法学部准教授
早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員

議会基本条例の検証・評価

議会運営委員会では、議会基本条例に沿った実績を2年ごとに検証・評価を行っています。

今回は、29・30年度で行った議会活動を検証・評価し、新たに取り組むべき項目を令和元・2年度の行動計画としました。

情報公開のさらなる充実を

- ・会議録のホームページでの公開
(予算決算、議会運営委員会、全員協議会)
- ・本会議会議録速報版の公開
- ・SNSを活用した情報発信

住民参加の促進

- ・議会懇談会開催方法の検討
- ・議会モニター導入について検討

議会政策サイクルの確立

- ・議会として政策立案及び政策提言を行えるよう政策サイクルを確立

議会のICT化

- ・タブレット端末を導入

議会図書室の有効活用

- ・町図書館との連携
- ・図書・資料が適切に収集できる体制強化

議決事件の拡大

- ・議決案件に基本構想及び基本計画を追加

令和元・2年度の行動計画

議会アドバイザーからのコメント

(第三者評価)

- ・SNSの活用、タブレット端末の導入など、他議会でも実施しているものは、早期に実現を。
- ・議会図書室については、図書館司書の活用、仙台大学の図書館との連携や町民への公開を合わせて検討してほしい。
- ・政策サイクルの確立は、全国の議会のモデルとなるような、柴田モデルの確立を強く期待する。



詳しくは
柴田町議会ホームページを
ご覧ください。

政務活動費を公表しています

議員の調査研究、政策立案など必要な経費として月額4,000円(年額48,000円)を会派又は議員に対し交付しています。29年度から収支報告及び領収書の公表をしています。

議会改革ランキングが発表されました

柴田町議会が、早稲田大学マニフェスト研究所が行っている「議会改革度調査 2018」ランキングが発表され、柴田町議会は47位となる評価をいただきました。

これからも
議会改革を推
し進めてまい
ります。

議会改革度ランキング	
全国で	47位
全国の町村議会の中で	7位
東北6県の町村議会の中で	1位
宮城県内の自治体の中で	2位

レポート

各常任委員会は各課の仕事を調査するとともに、委員会活動の活性化を図るためテーマを定め活動しています。

総務 常任委員会

令和元年5月13日～14日



調査事項

- ①前年度調査結果に対する措置状況について
- ②各課・所における事務事業の内容及び執行状況について

調査結果

【総務課】

- 防災士、防災指導員等人材の育成に努めること。

【まちづくり政策課】

- 地域づくり交付金については実績を精査すること。
- 交通指導隊及び防犯実働隊の人材確保に最善を尽くすこと。

【町民環境課】

- 空き家の利活用はまちづくり政策課等と連携し移住定住の強化にあたられたい。

【財政課】

- 公共施設等総合管理計画の個別施設計画はスケジュールどおりに進めること。

令和
元年度・2年度
活動計画

活動テーマ（重点調査事項）

住みたくなるまちに向けて

その他取り上げたい事項

- ・柴田町で今からできる移住定住促進策について
- ・公共施設等総合管理計画について（個別施設計画策定状況）

文教厚生 常任委員会

令和元年5月15日～17日

調査事項

- ①前年度調査結果に対する措置状況について
- ②各課における事務事業の内容及び執行状況について

調査結果

【福祉課】

- 保健師の確保のため、就労していない有資格者の掘り起こしを図られたい。

【子ども家庭課】

- 保育士の有資格者の掘り起こしに努めること。

【生涯学習課】

- 各生涯学習センターの事業の周知についてチラシの全戸回覧やホームページに掲載するなどの検討してはどうか。

【健康推進課】

- からだ測定会を周知し各種検診や申告相談の待ち時間のついでに測定できる機会を作ってはどうか。

【教育総務課】

- 第一幼稚園については、早急に関係者と協議し今後のあり方を示すこと。



令和
元年度・2年度
活動計画

活動テーマ（重点調査事項）

健康寿命の延伸について

その他取り上げたい事項

- ・子どもの命を守る対策
- ・障がい者に対する施策

所管事務調査報告書及び令和元年度・2年度活動計画

常任委員会

産業建設 常任委員会

令和元年5月8日～9日



調査事項

- ①前年度調査結果に対する措置状況について
- ②各課における事務事業の内容及び執行状況について

調査結果

【商工観光課】

- 商工振興については人材育成という点を重視し、人材発掘や若手経営者、新規起業・創業者の能力と意欲を十分に活かす方法（式）を検討されたい。

【上下水道課】

- 30年度の上水道の有収率が90%を切ったことから、配水量と有収水量の差が少なくなるよう検討されたい。

令和
元年度・2年度
活動計画

活動テーマ（重点調査事項）

- まちのにぎわい創生（商店街の振興、農村地域の振興、人材の育成、移住定住促進など）
その他取り上げたい事項
・都市計画マスタープラン・立地適正化計画

議会運営 委員会

年間計画

- ・議会運営委員会を開催
- ・先進地視察研修 愛知県安城市・岐阜県可児市（7月9日～11日）

活動計画

- ・議会基本条例の検証と評価



議会広報 常任委員会

年間計画

- ・企画会議の開催
- ・編集会議の開催
- ・先進地視察研修
- ・議会広報研修会に参加

活動計画

- ・しばた議会だよりを年4回発行



なつた

テーマ：柴田町消防団

常任委員会での指摘事項や、議員が一般質問で行う提言が町にどう反映されているかを「追跡」というテーマで取り上げます。

今回は、初の女性消防団員が入団した「柴田町消防団」について特集します。

消防団員の報酬と待遇

消防団員の報酬は条例で定められており、下表のとおりです。この他に、退職報奨金（5年以上）や公務災害に対する補償が設けられています。

なお、運営費として年額を定め、団員から徴収する班もあることから、入団する前に確認をお願いしています。

■報酬

役職	年額	役職	年額
団長	149,700円	部長	57,300円
副団長	107,400円	班長	53,600円
分団長	77,400円	副班長	42,100円
副分団長	67,200円	団員	31,600円

■出動手当（1回につき）

2,000円	災害の防除、警戒、訓練、会議など
--------	------------------

柴田町消防団は町民の生命と財産を守るため、日々活動しています。しかしその現状は、定員割れが続いている現状であり、議会においては、団員の確保、待遇について一般質問などで指摘や要望を行ってきました。

このことに対し、町では、団員確保に向けた取り組みとして、女性消防団員や学生消防団員の採用に向け、広報勧誘活動を行うとともに、町内企業の自衛消防団と連携などを行ってきました。町がこれらの取り組みを行っても、現在の団員数は、定員350人に対し、31年4月1日現在で294人（充足率84割）と22年度320人（充足率91・4割）と、毎年団員数が減少しているのが実情であり、今後も団員の確保に取り組む施策が必要ではないでしょうか。

これまで議会では

女性消防団員の入団



■年代と班別の団員構成（平成31年4月1日現在）

団員構成（人）	在職年数	5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上	計
		69	56	44	36	24	25	40	294
年別	20歳未満	20歳以上30歳未満	30歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満	50歳以上60歳未満	60歳以上70歳未満	70歳以上	計	
	0	4	63	82	74	64	7	294	

分団	班	人数	分団	班	人数	分団	班	人数
1	1	9	3	10	9	5	20	16
	2	9		11	5		21	17
	3	14		12	4	22(本船迫)	9	
	4	7		13	3	22(西船迫)	6	
	5	11		14(三ヶ屋敷)	12	23	14	
	6	5		14(海老穴)	4	ラッパ部	5	
	24	15		15(沖)	10	女性班	2	
2	7(新田)	10	4	15(山根)	11	計(30班)		294
	7(上名生)	11		16	10			
	8	9		17	10			
	9	14		18	13			
	9(剣水)	8		19	12			

待望の女性消防団員2人が、本年2月1日付で入団し女性班を編成。当面は本部付けでの活動となります。

6月29日には新人研修に参加し、ホースを使用した実技も含めた研修を修了しています。

今後、団員が増えれば小型ポンプ操法大会への出場や、火災の初期消火などの役割を任務として付与することも検討しています。女性ならではの視点を活かした活動を期待しています。

■平成30年度出動状況

種別	回数	延人員	種別	回数	延人員
火災(非火災含む)	16	200	訓練等	119	2,244
風水害	4	9	会議等	71	537
警戒	170	801	計	380	3,791

「追跡」あれはどう



改善はどこまで進んだ

これまで、団員には活動服の更新のほか、編上げ靴、夏用の半袖Tシャツ、冬用の長袖Tシャツを配布しています。

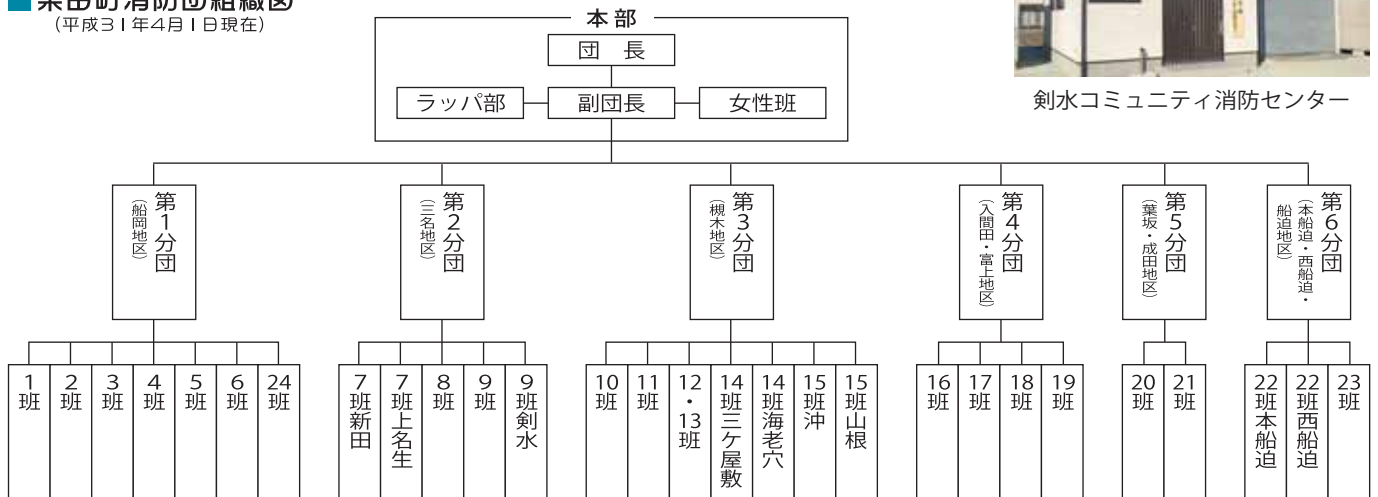
各班の装備では、LED投光器の配備、管そうの更新（軽量化）のほか、ホースなどの随時入替を行っています。

また、昨年度、剣水コミュニティ消防センターの新築など、消防団の拠点整備にも取り組んでいるところです。



剣水コミュニティ消防センター

柴田町消防団組織図 (平成31年4月1日現在)



町内消防施設

・消防ポンプ車	1台
・小型消防ポンプ	27台
・小型消防積載車	27台
・消防団詰所	28カ所
・防火水槽	133カ所
・消火栓	455基



消防団員募集中！

町内に居住または、通勤、通学している18歳以上で心身共に健康であれば入団可能です。入団については近くの消防団員に相談するか、町「総務課」まで連絡ください。

「詳しい活動内容や報酬と待遇は？」
町ホームページから「柴田町消防団」で検索できます。

来年度柴田町を会場に県操法大会が開催予定

令和2年7月に第51回宮城県消防操法大会が柴田町で開催される予定です。

本町ではその対応として、町内の消防団から構成員を選抜し、9月に結団式を開催。その後、10月から毎週2回程度の訓練を行い、大会に臨む予定です。

あなたの一言



こいけ じゅり
小池 琉璃さん
(柴田高校3年)

○今、がんばっていることはなんですか？

将来の夢に向けて、学業はもちろん部活動や生徒会活動にも精一杯取り組んでいます。

○柴田町ってどんな町？

春の一目千本桜を始め、一年を通して花を楽しむことができる自然が豊かな町だと思います。

○どんな町になってほしいですか？

子どもからお年寄りまで住みやすく、他の地域の方々にもたくさん訪れてもらえるような町になって欲しいと思います。



みなさまからいただいた貴重な意見を議会として町政に反映させていただきます。

○今回のワールド・カフェの感想は？

ワールド・カフェは初めてだったのですが議員の方々と楽しみながら意見交換ができ、とても良い時間を過ごすことができました。

○議会、議員に一言！

議員の方々のおかげでリラックスした雰囲気でお話できました。私達の意見が少しでもよりよい町づくりに役立つことができればうれしく思います。貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございます。

未来へ向けて

表紙について



若さあふれる高校生！
ワールドカフェが終わり、緊張がほぐれたところで写真撮影。
明るい未来が待ってますように。

編集後記

今回の議会だよりの目玉はズバリ！若者！！
表紙も裏表紙も特集も若者！

さて若者と言えば今年は選挙が多い年です。18歳選挙権になってから3年がたちましたが依然、若者の投票率は低いままで。柴田高校のみなさんには、この懇談会をきっかけに地域に関心を持って行政や政治を少しでも身近に感じただければ嬉しいです。
(森 裕樹)

議会広報常任委員会

- | | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 森 淑子 | 委員 | 平間 幸弘 |
| 副委員長 | 加藤 滋 | 委員 | 吉田 和夫 |
| 委員 | 森 裕樹 | 委員 | 平間奈緒美 |
| 委員 | 安藤 義憲 | | |

ぜひ、議会の傍聴を！！

お待ちしております！

9月会議は

9月2日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

9月2日(月)・3日(火)・4日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

町ホームページ 本会議審議等結果を掲載 各種会議の出欠状況

町ホームページ内、「柴田町議会」の中の「議会のうごき」に、議員(委員)の出欠状況も掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより165号は、約16,000部作成しています。1部当たりの経費は約34円です。